

防災減災学術連携委員会（第 26 期・第 5 回）

メール審議結果

審議方法：メール審議（※会則第 31 条による委員会における議決方法の特例）

日 時：照会期間：令和 7 年 1 月 17 日（金）10:00～1 月 20 日（月）正午

議決期間：令和 7 年 1 月 20 日（月）正午～1 月 22 日（水）正午

議 題：公開シンポジウム（案）「2つの提言：壊滅的災害へのそなえを考える ～
1995 阪神・淡路、2011 東日本、2024 能登半島の教訓に学ぶ～」の開催につ
いての承認について

※なお、議題についてメール審議後の調整等による変更については、委員長に一任する。

趣 旨：日本学術会議の 1 月幹事会へ、議題の公開シンポジウム企画案「2つの提
言：壊滅的災害へのそなえを考える ～1995 阪神・淡路、2011 東日本、
2024 能登半島の教訓に学ぶ～」を提出するもの。

議事内容：防災減災学術連携委員会第 26 期・第 5 回（メール審議）については、委員
の 2 分の 1 以上の回答があったため、審議が成立した。議題については、回答
数の過半数を超える賛成多数により承認された。